

平成 30 年 3 月 22 日（木）

小笠原陸産貝類生息域外保全事業について

環境省の小笠原陸産貝類生息域外保全事業では、絶滅のおそれのある小笠原陸産貝類を保全するため、昨年 9 月から恩賜上野動物園、多摩動物公園でアナカタマイマイの飼育を開始し、また、井の頭自然文化園、葛西臨海水族園でカタマイマイの飼育を開始しました。

このたび、恩賜上野動物園、多摩動物公園においてアナカタマイマイの繁殖に成功しましたのでお知らせします。

1 経緯

小笠原諸島の陸産貝類は、在来種の中の多くが小笠原固有種とされており、世界自然遺産の重要な価値の一つですが、近年、外来種であるプラナリア類の侵入等により、生息状況が著しく悪化しています。

環境省では、小笠原世界遺産センターにおいて、小笠原陸産貝類の生息域外保全に取り組んでいますが、生息域外保全の拠点を更に増やし、危険分散を図る必要があります。

そこで、小笠原陸産貝類 14 種保護増殖事業計画に基づき、平成 29 年 9 月に小笠原世界遺産センターで飼育中の小笠原陸産貝類のうち、アナカタマイマイを恩賜上野動物園及び多摩動物公園に、カタマイマイを井の頭自然文化園及び葛西臨海水族園に移送し、飼育・繁殖に取り組んでいます。

2 各園における飼育・繁殖状況

平成 29 年 12 月 22 日に多摩動物公園、平成 30 年 1 月 19 日に恩賜上野動物園で初めてアナカタマイマイの産卵が確認されました。

また、1 月 26 日に多摩動物公園、2 月 22 日に恩賜上野動物園で初めてアナカタマイマイの孵化が確認されました。

なお、井の頭自然文化園、葛西臨海水族園では、引き続き、カタマイマイの飼育・繁殖に取り組んでいます。

<アナカタマイマイの飼育・繁殖状況（3 月 19 日現在）>

	産卵数	孵化数	個体の総数
恩賜上野動物園	2 9 個	9 個体	3 8 個体
多摩動物公園	1 1 4 個	6 0 個体	8 9 個体

3 今後の予定

飼育園館での繁殖の結果得られた個体については、遺伝的多様性を考慮して、必要に応じて飼育園館間でローテーションによる個体の移動を行い、飼育下繁殖に取り組むこととしております。

引き続き飼育環境への馴致と繁殖に専念するため、当面公開の予定はありません。

4 問い合わせ先

○生息域外保全事業全般について

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 松尾

TEL：03-5521-8353

○小笠原における保全事業について

・環境省関東地方環境事務所野生生物課 似田貝

TEL：048-600-0817

・環境省関東地方環境事務所小笠原自然保護官事務所 黒江

TEL：04998-2-7174

○各施設における飼育繁殖の取組状況について

・恩賜上野動物園 教育普及課 金子、鈴木

TEL：03-3822-5811（直通） / 03-3828-5171（代表 ※17時まで）

・多摩動物公園 教育普及課 坂本、天野

TEL：042-591-1689（直通） / 042-591-1611（代表 ※17時まで）

※個体の写真については、恩賜上野動物園、多摩動物公園までお問い合わせください。

【参考】

・アナカタマイマイ（絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)）

学 名：*Mandarina hirasei*

特 徴：殻は、殻長 13.0mm、殻径 21.0mm 程度で、扁平、やや薄質、螺層はわずかに膨れる。体層周縁は円い。殻色は淡黄褐色から濃褐色で、色帯をもたない。殻表はほぼ平滑。殻表の光沢は弱い。臍孔は広く開く。殻口は厚く肥厚・反転する。

分布域：小笠原諸島父島の南端部に生息する。また、近年巽島でも生息が確認された。

生息環境：タコノキやオガサワラビロウが生育する林内の樹上から地上までを利用する。

（レッドデータブック 2014 より抜粋）

環境省自然環境局野生生物課
希少種保全推進室

室 長：番匠 克二（6677）

室長補佐：松尾 浩司（6464）

直通：03-5521-8353

代表：03-3581-3351